

一般
会計

2020年度予算(前年比4.5%増)

111億2878万円の理由は

3月
定例会

～新年度一般会計予算の特徴～

- 1.新年度当初予算は、前年比4.5%増の111億2878万円で過去10年間にはない最大規模の予算。
- 2.任用制度導入などによる人件費の増、松前中学校改築工事など投資的経費の大幅アップで町債(借入金)も前年比53.8%増。
- 3.子ども・子育て支援、教育費に掛ける町の意気込みを感じる予算

あらまし

3月定例会は、3月2日から18日までの17日間の会期で開催。
 ★1日目に報告3件、条例12件、議決を求めるもの1件、補正及び当初予算で11件の案件が上程され、すべて所管別の常任委員会に付託した。なお議会に議決を求めるものとして出された第5次松前町総合計画の審査については、設置された特別委員会に付託した。
 ★2日目に令和元年度補正予算について審議した。
 ★3日目に一般質問を行い、4人の議員が町政を質した。

★4日～7日目に文教厚生、総務産業建設、予算決算の各常任委員会および第5次松前町総合計画審査特別委員会にて審議した。
 ★最終日に審議された各委員会の報告を受け、すべて原案通り可決した。
 ★追加議案として2件の人事案件に同意し、追加補正予算案件1件についても、原案通り可決した。
 (詳細については、各ページで)

松前中学校改築事業が本格始動
 過去10年間では最高額予算。借入金(町債)も大幅増

最近の景気動向から

「緩やかな回復が続く」とが期待されると回復基調が高まる一方で「海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある」との指摘がある。

その上、2月後半から新型コロナウイルスの感染拡大が全国的な問題となり、国民一人一人の暮らしにも大きな影響をもたらした。想像もできないほどの経済的打撃を与えている。感染の勢いは全世界的に拡大し先行きの見えない景

気動向の中、緊急的な国の動向・要請に応じながらも、住民の要請に慮えてその役割を適切に果たしていかなければならない。新たな着眼や柔軟な発想による徹底した行政改革に取り組み、財源の充実確保を図っていく必要がある。

★議会から一言

町長二期目最初の新年度予算編成は、子育て世代に、また教育の町を提唱する松前町を特徴づけるもので、歳出予算の教育費の前年度からの伸び率は72.9%と突出している。

そのため、町債高も16億円を超えるものとなっている。

算など厳しい局面も予想されるので、しっかり注視していきたい。

★今回の世界的規模の新型コロナウイルス感染という不測の事態に国、県の交付金や補助金の内容がどうなるのか、今後の補正予

●令和2年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在り高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)在り高	113億1053万円	見込額
	36万9565円	町民一人あたり
基金(貯金)在り高	17億7576万円	見込額
	5万8022円	町民一人あたり

(令和2年3月末現在)

